

平成29年度

保育園のしおり



社会福祉法人みどり会

北条みどり保育園

ご入園ご進級おめでとうございます。

ご入園にあたり、保育園より諸準備及び連絡をさせていただきます。

入園の心得

保育園は、保護者の方が家庭内外の職業や看護、その他家庭において養育することができない場合に、お子さんをお預かりし、乳幼児の保育を両親にかわって致します。園では、全職員が話し合いのもと、長期、短期に計画を立て日々、子どもたちの心身の健全育成を第一に考えていきます。

お子さんにとっても、保護者の方々にとっても園という集団生活の中で、初めてのことが多いあると思います。わからない事、子育てに関する相談等、気兼ねなく職員にお話ください。

乳幼児期にとって特に生活そのもの、遊びそのものが学習ですので、園生活と家庭生活が足並みをそろえなければ、効果が上がりません。お子さんの生活面、情緒面、遊び等ではいろいろとお話をさせていただきますが、そういう意味でぜひご理解、御協力していただきますようお願いいたします。

施設名称	社会福祉法人みどり会 北条みどり保育園
住所	鳥取県東伯郡北栄町江北484番地3
開設	1982年(昭和57年)4月1日
定員	90名
児童在籍数	72名
理事長	前田孝寿
園長	松本八千代 住所 鳥取県東伯郡北栄町江北484-3
受入年齢	生後2か月～就学前
開園時間	7時15分～19時(月～土)
休日	日曜日、国民の祝日、年末年始(12月保育納め～1月4日)
事業概要	保育事業(通常保育) 一時預り(未入所児の子どもさん対象) オープンデー(未入所児の親子対象)

《保育時間》

午前7時15分～午前8時 *この時間、保育の必要な方は
午後4時30分～午後7時 担任までお知らせください。

*土曜日昼帰りの方は、おやつを食べますのでお弁当なしで
12時までのお迎えをお願いします。

7:15～7:30-----延長保育
8:30～ 16:30-----2, 3号認定の保育短時間
7:30～18:30-----2, 3号認定の保育標準時間
18:30～19:00-----延長保育

《職員構成》

園長	松本八千代
主任保育士	山本朋子
保育士	吉村真理恵 土井圭子 横田いづみ 牧山佐知子 中口美砂 岩本梨紗 蔵求幸 妻藤頭子 富友佳 岡崎暁子 伊藤真由美 野儀久美 富友佳 前田禎子（産休代替 保育士） 前田侑子 立木美江(育休)
看護師	高橋まゆみ
調理員	佐々木愛 三浦明美
パート職員 (保育)	柿本さつき 引田智子
(給食)	松田香代子 奥田妙子

□ 保育の概要

《保育理念》

子どもが安心、安全に育ち、心身共に健やかに育つために必要な環境を保つ。その上で子どもの「生きる力」「育つ力」を尊重しながら、社会で生活していくために必要な心情、意欲及び態度を育む。

《保育方針》

- ・健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境の中で、一人ひとりの子どもを大切にしながら、心身ともに健康で明るく人間性豊かな乳幼児の育成に努める。
- ・各々の年齢、発達に即したねらいをもち、職員間連携を密にしながら一貫性のある保育を行う。
- ・家庭及び諸機関、諸団体と連携を密に、地域に開かれた活力のある保育園をめざしていく。

□ 保育の柱

《保育目標》

- 健康で明るい子（げんき）
- 情操豊かな子（やさしく）
- 最後までやりぬく子（たくましく）

《めざす子ども像》

- ・丈夫で体力のある子ども
- ・元気よく友達と遊べる子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・命を大切に生き生きと活動する子ども
- ・自然に目を向けれる子ども
- ・仲間の中で自分の思いを伝えながら友達の思いに気づき、みんなで力を合わせることを大切にする子ども
- ・感動し、驚き、疑問を持ち考え表現できる子ども
- ・物事に意欲を持って、粘り強く取り組む子ども

本年度の重点目標

- 1、自分の思いを相手に伝えるように言葉で伝える
未満児：自分の思いをしぐさなどで表現して相手に伝えようとする
- 2、基本的な生活習慣を身につける
～自分の事は自分でやってみようとする～

保育の内容

○健康で明るい子（体育）

自分のからだを思うように動かせる体作り

生活時間が色々ありますが、早寝早起きのリズムは、子どもの体、心に大きく関わってきます。寝不足は大事な「遊び」ができないだけでなく、楽しんで遊び込むことができない為、友達との関わりにもつまずきが多くなります。機嫌良く朝からの活動ができることは、学ぶ保障をしていく事になりますので、子どもを中心にした生活時間を作っていく事を大事にします。

何でも無いのに転ぶ、手が出ない、体を支える筋力が弱い等、意図的に体を動かし、足、体幹が育つための体全体で遊ぶ事を大事にしています。



げんき
からだ
(体育)

○情操豊かな子（徳育）

自分の思いを伝える力

まずは、安心できる人、場所があり、そしてたくさんの人との関わりがあります。腹が立ったり、くやしかったり、悲しい思いをすることもあります…。私達大人が「事が起こる前」に経験を奪ってしまうのではなく、「事が起きたときに」子どもと一緒に考え、人と対話し自分の思いを伝え、解決していくことを大切に考えています。

家庭や園内だけでは味わえない「自然」や「社会」で体験学習する機会として、数多くの園外保育を取り入れています。

きれいな物をきれいと感じる心、言葉にしていく感性を育む「本物体験」を経験していき、いっしょに感じていく事を大切にしています。

やさしく
こころ
(徳育)

○食育

自分で選んで、自分で食べる力

幼児期は生涯の中でも生活習慣や自己健康管理能力を形成する上で重要な時期です。

中でも「食べる事」は子どもの全てを支える生きる力の基礎になります。

食材が育つ手間、調理する手間を知る事で、食べ物を大切に、感謝する心が芽ばえます。

栄養について学ぶ事で、自分に良いものを知っていきます。



たくましく

(食育)

○最後までやりぬく子（知育）

解決策を見つける思考力

子どもたちは遊びの中で試行錯誤を繰り返し、成功感を味わったり、時にはぶつかったり、失敗したりします。

保育者はつまづかないように教え込むのではなく、つまづいた時に子どもの気持ちを受け止め、どうすれば乗り越えられるのか、子ども自身が「気づき、考えられるよう」援助しています。



「遊び」と「学び」は一体！

自ら興味・関心に沿って体験を重ね、自ら獲得していく事が「学び」です。「遊び込む」事が何より大事です。指導計画に基づいて「遊び」が始り、気づき、工夫が組めるような環境や仕掛けを整えています。

園外保育の中には、いろいろな所へ自分の足で歩いて行きます。それは強い体を作ることだけが目的ではありません。歩き通すことで「何事にもがんばろう」という意欲や「最後まであきらめない」という強い心と五感、感性が育っていきます。

『0歳児 もも組』

- ・養護の行き届いた保健的で安全な環境のもとで、快適に生活できるようにする。
- ・甘えや欲求を十分に受け止め、安心できる保育者とのかかわりの中で、情緒の安定を図る。
 - ・一人一人の個人差に留意しながら、子どもの心身の成長発達を育む。

『1歳児 ちゅうりっぷ組』

- ・安心できる保育者のもとで、自分でしようとする意欲を持つ。
- ・保育者や友達とかかわる喜びを感じ、思いや要求を身振りや言葉で伝え、簡単なやりとりを楽しむ。
- ・自然物や遊具、玩具に関心を持ち、触れたり試したりして遊ぶことを十分に楽しむ。

『2歳児 たんぽぽ組』

- ・保育者との安定して関わりの中で、簡単な身の回りの事を自分でしようとする。
- ・様々な経験を通して言葉が豊かになり、自分の思いや気持ちを表したり、言葉のやりとりを楽しんだりする。
- ・自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと体を動かしたり、表現したりする楽しさを味わう。
- ・自己表現やだだこねを十分に受け止めてもらいながら自分の思いを表現し、相手の思いにも気付く。

『3歳児 ばら組』

- ・基本的な生活の仕方が分かり、園生活の流れに沿って、自分でしようとする意欲を持つ。
- ・自分のしたい遊びを見つけじっくり遊ぶ。
- ・保育者や友達と親しみ、触れ合いながら遊ぶことを楽しむ。
- ・自分の要求や感じたことを、自分なりに言葉で伝え言葉で表現したりする。

『4歳児 さくら組』

- ・自分でできる事に喜びを持ちながら、日常生活に必要な生活習慣や態度を身につける。
- ・生活経験を通して、相手の立場を考えたり認め合ったりして友達との関わりを深める。
- ・身近な環境に関心を持ち、感じた事や思った事、想像した事などを表現する。

『5歳児 すみれ組』

- ・友達と一緒に園生活を十分に楽しみ、意欲的に遊びや生活に取り組むとともに、主体的に行動して充実感を味わう。
- ・クラスの友達との関わりを通して、集団生活における必要な態度を身に付け、協力したり役割り分担しながら達成感を味わう。
- ・生活の中で必要な言葉を身に付け、自分の気持ちを表現するとともに、伝えあう喜びを感じる。

◆デイリープログラム

子どもの心と体は24時間の生活の流れの中で作られます。睡眠、食事、遊び（身体活動）をよりよいサイクルで過ごせるよう、子どもの生活に合わせ、ご家族と一緒に支え合っていきたいと思えます。

	0才児	1, 2才児	3才以上児
7:15	登園、視診、検温 あそび	登園、視診、 持ち物整理 あそび	登園、視診、 持ち物整理 あそび
9:00	出席点検 授乳・睡眠 おやつ	出席点検 おやつ	出席点検 あそび
9:30	あそび	あそび	(健康、人間関係、環境、 言語、表現を総合的に保障)
10:00			
11:00	給食（離乳食） 授乳	給食・はみがき	給食・はみがき
11:30			
12:00	睡眠 起床 おやつ（授乳）	昼寝 起床 おやつ	昼寝 起床 おやつ
15:00	あそび	あそび	クラスでの活動、帰りの会
16:00	降園	降園	降園
19:00	保育終了	保育終了	保育終了

◆行事

〈毎月行う行事〉

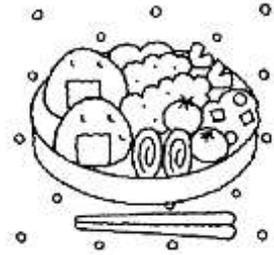
- ・誕生会
- ・身体測定
- ・避難訓練
- ・オープンデー（5月から実施）
- ・ワクワクデー（3才以上児の交流活動）
- ・半日保育士参加（主に子どもさんの誕生月）
- ・園外保育（月2回）
- ・お茶会（月1回、すみれ組）
- ・ローリー先生と遊ぼう（第2, 4水曜日、すみれ組）
- ・交通安全指導（交通安全運動実施月は、運動期間中に実施）

〈地域との交流〉

- ・つくしんぼの会〈読み聞かせの会〉
- ・図書館活用（5歳児対象）
- ・小学生、中学生、高校生との交流
- ・JA女性会

◆給食方針

- ①薄味にする
- ②独自の献立
- ③園内自園給食
- ④週に2回は手作りおやつ
- ⑤地産地消で女性会さんの野菜
- ⑥毎日10日はおにぎりデー（10日が土日の場合は前日に実施）



いろいろな食材や料理を知るなかで、視覚、嗅覚、味覚、触覚、聴覚で感じています。

「食べる」ことは、「生きること」「生かされている命であること」を感じていける「食事」でありたいと考えています。



◆給食・おやつについて

		もも組 0才	ちゅうりっぷ組 1才	たんぼぼ組 2才	ばら組 3才	さくら組 4才	すみれ組 5才
昼	給食（月～金）	完全給食 0才児は個々にあわせて離乳食をします			副食給食 * ご飯をお弁当に入れて持参		
	食 （土）	<p>* 1才～5才 愛情弁当（おかず入り） 箸、水筒</p> <p>* 0才は離乳食2回食を目安に、お弁当を持って来ていただきます。（個々の進み具合に応じて連絡させていただきます）</p>					
おやつ		午前と午後の2回			午後1回		

《食物アレルギーについて》

当園では、医師の診断により「食物アレルギーの為、食品の除去が必要」とされた場合、給食、おやつにおいて、指示された食品の除去、代替等の対応を行っております。

子どもの健やかな育ちには、家庭と保育園と協力し合う事が重要と考えています。家庭と保育園で、よく話し合い、対応を統一していきましょう。



- ・食物アレルギーへの対応は、医師の診断及び指示のもと行います。
- ・お子さんの健康状態や治療内容の確認、対応の統一の為、保護者、担任保育士、調理員、が話し合いを持ちます。